

シースタイル (東京都中央区)

川合大無 社長 (42)



PROFILE かわい・だいむ

1975年、千葉県生まれ。東京農業大学農学部卒業後、ニチモウへ入社。その後、バリューコマース、サイバーエージェントを経て、2004年に株式会社シースタイルを設立。2006年から不動産プラットフォーム事業を開始し、現在そのメディアは15種にのぼる。

旬の人

不動産関連の比較査定サイト「スマイスター」を運営するシースタイルでは、新事業として、不動産や住宅業界に特化した人材紹介サービスを開始。現在、本業のメディア事業で取引のある不動産関連事業をはじめ、幅広くサービスを普及していく考えだ。

住宅・不動産業界に特化した 人材紹介サービスを開始

「スマイスター人材紹介」と名付けられた今回のサービスは、2年間の考案期間を経て、今年10月からスタート。同社が運営する12種類の不動産見積サイトに登録する1600社の不動産会社の採用を後押しするものとして設けられたものだが、「将来的には4割程度を新規の不動産会社さんに使ってもらいたい」と川合大無社長は話す。

現在、不動産の流通市場ではライフステージに応じた住み替えや買い替へのニーズが拡大しており、市場

規模が大きくなるに従って慢性的な人材不足が顕在化しはじめている。また2020年の東京オリンピックに向けた建設ラッシュやリニア中央新幹線の建設計画に伴った技術系の求人が今後必要となっていく中で、同社は人材紹介のニーズに改めて注目した。

「これまで当社は『不動産メディア事業』としてサービスを提供していましたが、10月からは『不動産プラットフォーム事業』としてスタンスを変えました。不動産業界で働く方のビジネスプラットフォームを提供しようという中で、この人材紹介サービスはまさにその一つです」

入社してはじめて費用が発生

不動産や住宅業界で働く人材は、ホワイトカラーと呼ばれる人材だけでも200万人いるといわれている。同社はあくまでも業界に特化させることで、他社との差別化を打ち出していく予定だ。

▶「住宅・不動産業界No.1の人材紹介を目指す」と話す、人材紹介担当の宮内賢一氏



今回の人材紹介の対象となるのは、主に「中途」人材。現在同社ではウェブやデータベースを使って求職者の募集を行っている。求職者からの問い合わせが発生した際は、同社のスタッフが求職者へのヒアリングを行い、それを踏まえて条件の近い求人を出している不動産会社への紹介を行う。

報酬形態は想定年収の35%となるが、あくまでも入社した時点で発生する仕組み。また入社後に離職する場合は、年収の80%（1カ月以内）、50%（1〜3カ月以内）、10%（3〜6カ月以内）の返金がされるため、企業側のリスクは大きく軽減される。